

☆☆「強く 正しく 健やかな西小っ子」に！☆☆

大村市立西大村小学校
学校だより

一歩前へ

文責：校長 高木 修
令和7年6月26日 No.6

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆「校長講話」 6月25日（水） 全校児童に向けて

平成16年度から始まった「長崎っ子の心を見つめる教育週間」も今年度で22年目となりました。大村市では「7月1日を含む1週間」を教育週間として設定するように決まっていますので、本校では「西小っ子の心を見つめる教育週間」として、今年度の日程を、6月25日（水）～7月1日（火）に設定しました。初日の25日（水）に、全校児童に向けた校長講話をリモートで行いました。

今回は、「命の大切さ」について伝えたくて、「**大きな数字**」を紹介しながら、次のような話をしました。

■「42048000回」…1年間に心臓が動く回数

- ・1年生で「2520000000回以上」～
- 6年生で「4620000000回以上」心臓は動き続けている
→ 「生きている」というより「生かされている」

■「0.0000000000000000134%」

- ・人（あなた）が生まれる確率 → 命は奇跡

■「7000000000000000組」

- ・一組の男女の遺伝子の組み合わせ
- ・あなたがあなたとしてこの世の中に存在している確率は「70兆分の1」
（だから似ていても誰一人同じ人はいない） → あなたはかけがえのない唯一の存在

■20代前：「1048576人」 → あなたの命は多くのご先祖様から受け継がれてきたもの

- ・1代前で2人、2代前で4人、3代前で8人、10代前だと1024人…
→ 「命のバトン」を受け継いで来たのだから、「自分だけの命ではない」
→ あなたの命が、これからの未来の子どもたちに受け継ぐ大切な命の源になる
- ・ご先祖様の中の誰か1人でも欠けていたら、「あなた」という個性を持った人間は存在しなかった
→ あなたという命は、当たり前じゃない
→ 誰の命もとても貴重で大切だ

※こんな「大切な命」を、粗末にするような言葉かけや行動は、絶対にダメ
※自分の命も、周りの人の命も大事にしよう

■命には必ず限りがある

- ・その限りがいづになるかは、自分ではわからない

※お互いに命を大事にし合いながら、精一杯、楽しく明るく生きていこう
皆さんが元気に過ごす姿をこれからもたくさん見せてほしい

あなたがあなたとして
この世の中に存在している確率

70兆分の1の奇跡
誰一人同じ人はいない
かけがえのない存在

生かされている命

「命のバトン」を受け継いだ命
奇跡の確率で与えられた命
たった一度だけの命

自分の命も

周りの人の命も

大事にしよう

